

ひまわり

花言葉 ～あなたを見つめる～



放射線科

Radiology

放射線科部長 **はせがわ ひでみ**
長谷川 秀水



放射線科における画像診断について

放射線科は、現在、診断分野と治療分野の2つに分かれており、私が担当しているのは、診断分野となっています。治療分野に関しては、大学病院より放射線治療専門医が週二回（火、金）、放射線治療を担当しております。

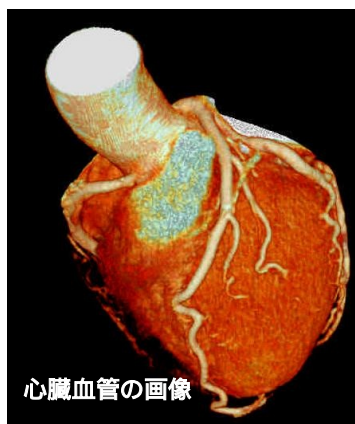
診断分野の主な診療内容としましては、院内、開業医の先生方から依頼されたCTやMRI、核医学検査に対する画像診断報告書の作成、およびカテーテルによる血管内治療です。

また、院外施設ともネットワークで接続しており、より専門的な知識を必要とされる症例の場合や、一人体制では対応困難な場合等にご協力いただいております。

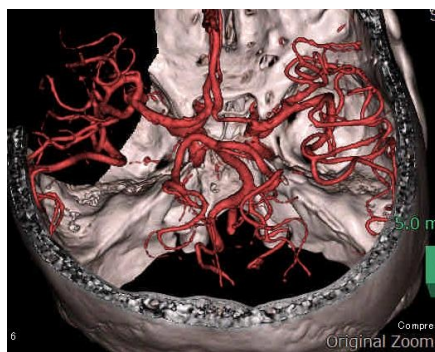
撮影機種は東芝製64列CT、シーメンス製1.5T MRIです。冠動脈CT他、血管系の3DCTも対応可能です。

当院の放射線技術科では、放射線技師、看護師、また地域医療連携室と全員で協力しながら、院内外の先生方に質の高い検査を提供できるよう日々努力しております。

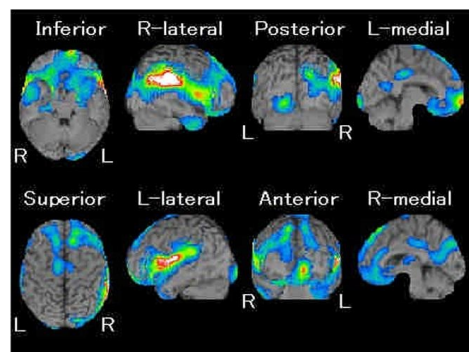
何か困ったことや疑問などがございましたら、是非お気軽にご連絡いただけますと幸いです。



心臓血管の画像



脳内部血管の画像



脳血流核医学検査画像

(統計学的解析画像：
色のついた部分は血流が少ない部分)



【基本理念】

私たちは良質な医療を提供し、市民に信頼される病院を目指します。

【基本方針】

1. 市民が必要とする地域医療の提供に努めます。
2. 患者様の立場に立った医療を行います。
3. 地域完結型医療における基幹病院としての役割を果たします。

第4回

出水地域脳卒中連携ネットワーク研究会に参加して

出水総合医療センター 地域医療連携室
社会福祉士 上原 吉雄

平成23年11月18日(金)18時30分より、阿久根市民病院(旧本館4階大ホール)において、標記研究会が開催されました。

今回は、阿久根市民病院脳神経外科、平原正志先生から「症例報告と現状報告」と題し症例数、内訳などの現状報告がありました。

平原先生の報告から「当出水地域の発症傾向、発症のリスクファクター(発症要因、社会・地域背景)、発症前の予防、管理の重要性」が明らかにされました。

発症の要因分析では、「40歳代の独身者は、発症の危険性が高まる」との分析、説明があり、普段の生活習慣、生活管理の大切さを考えさせられました。

また、平原先生から地域連携クリティカルパスの概念、目的について説明、確認があり、当地域における運用方法、広くは介護保険関係職種(ケアマネージャー)との連携、情報共有のあり方も視野に入れた検討が必要との示唆があったと認識しました。

来年度は、診療報酬、介護保険法の同時改定となり、「連携」をキーワードとした、見直し、改定が予想されます。今後、制度の流れ、方向性を考えながら、本研究会に参加し、学習を深めていきたいと感じました。

脳卒中地域連携パス(患者様用): 様

急性期病棟(病院)	回復期リハ病棟(病院)	維持期(病院・医院・介護施設)
現在の障害を説明します。 <input type="checkbox"/> 脳梗塞 <input type="checkbox"/> 脳出血 <input type="checkbox"/> くも膜下出血 <input type="checkbox"/> 意識の障害 <input type="checkbox"/> 運動の障害 手足の麻痺 バランス障害 <input type="checkbox"/> 言葉の障害 <input type="checkbox"/> 食べることの障害 <input type="checkbox"/> 尿・便の障害 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> その他	リハコースの内容 A 軽度障害リハコース (約1~2ヶ月) B 標準リハコース (約2~3ヶ月) C 重度障害リハコース (約3~4ヶ月)	転棟・転院 3ヶ月程度 経過中随時 在宅 介護老人保健施設 療養型病床 グループホーム ケアハウス 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
上段の障害でリハビリが必要です。現状の評価を行い移動能力で以下の3つのコースに分かれリハビリを行います。自宅退院を目標にリハビリを頑張ってください！	リハビリ内容 摂食・嚥下訓練 言語訓練 書字訓練 トイレ動作訓練 歩行訓練 入浴動作訓練	在宅 介護老人保健施設 療養型病床 グループホーム ケアハウス 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
<input type="checkbox"/> A 軽度障害リハコース (約1~2ヶ月程度) ひとりで歩ける方 <input type="checkbox"/> B 標準リハコース (約2~3ヶ月程度) ひとりで座れる方・ひとりで立てる方 <input type="checkbox"/> C 重度障害リハコース (約3~4ヶ月程度) ひとりで座れない方	☆在宅介護への取り組み事項 維持期(在宅、入所、転院)のためにいろいろな準備が必要ですので早めに主治医や医療相談員に相談しましょう。 <input type="checkbox"/> 介護保険の説明 <input type="checkbox"/> 要介護認定 <input type="checkbox"/> 介護保険の申請 <input type="checkbox"/> ケアマネージャー選定 <input type="checkbox"/> 介護指導 <input type="checkbox"/> ケアプラン作成 <input type="checkbox"/> 認定調査 <input type="checkbox"/> ケアプラン作成 <input type="checkbox"/> サービス担当者会議	<input type="checkbox"/> 家屋調査・改修 <input type="checkbox"/> 在宅医療(かかりつけ医) <input type="checkbox"/> 訪問診療・訪問看護・訪問リハ <input type="checkbox"/> デイサービス・デイケア <input type="checkbox"/> 訪問介護(ヘルパーサービス) ☆在宅介護・維持期病院・施設等で経過中に急変した時は急性期病院と連携します。
☆当院では脳卒中地域連携パスに基づいて連携病院・医院・介護施設等に情報提供を行い地域に根ざした医療を行っています。 説明日：平成 年 月 日 出水総合医療センター 阿久根市民病院 説明を受けた人：本人、家族() 署名： 担当医 _____ 説明者 _____		

脳 卒 中 連 携 パ ス



地域医療研修奮闘記

臨床研修医 A・D

この度、11月1日から1ヶ月の間、地域医療研修として出水総合医療センターと関連施設（高尾野診療所・野田診療所）、クリニック（しもぞのクリニック）にて研修をさせていただきました。

出水総合医療センターは、出水市とその周辺地域の基幹病院として、軽症から重症まで、様々な患者さんを診ておられました。この地域では、患者が高齢化しており、高齢の患者はそれだけでリスクであることは言うまでもありません。

しかし、出水総合医療センターでは、80歳代、90歳代はもちろんのこと、100歳を超える患者に対しても積極的に治療を行っていることに驚きました。

また、僻地医療として諸先生方について上場・大川内といった山中の診療所への往診にも同行させていただきました。このことを通して、どのような状況で医療を必要としている患者がいるということを実感しました。午後の数時間で来られる患者さんは数人でしたが、患者にとっては診療がなくなると、とても困るということ、

集落の中で医療スタッフがいかに重要な意味を持っているかということがわかりました。

地方での医療の縮小化が叫ばれている昨今で、この出水市もその影響を受け、医療スタッフが減少していると、ところどころで耳にしました。実際にどの施設でも、規模に対する医療スタッフの少なさを感じることは多々ありました。しかし、そのような状況でも、施設間がうまく連携をとり、それぞれの役割をこなすことで医療が成り立っていると感じました。それはスタッフがそれぞれの役割を認識し、仕事を行っているからだと思います。

私はまだ研修医という立場のため、出身大学と現在の職場以外の病院を知りません。今回、外に出て違う環境に身をおくことで、見識を深めることができたと思います。こちらに来た当初は、勝手の知らない土地での生活に不安もありましたが、終わってみると1ヶ月がとても早く、また楽しい時間を過ごすことができました。

こちらでの経験を活かし、良き医療人となれるよう、今後も努力していきたいと思います。ありがとうございました。

年末年始の診療について

平成23年12月29日（木）から平成24年1月3日（火）までは休診となります。

年始は、平成24年1月4日（水）から通常どおり診療いたします。

なお、急患の患者様についてはこの限りではございません。

鹿児島県地域リハビリテーション広域支援センター (脳血管疾患分野・整形疾患分野)指定について

リハビリテーション技術科 川崎 真理子

鹿児島県では、地域リハビリテーション支援体制の推進のため、県の中核センターとして、鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンターが指定されており、また地域の中核となる医療機関等を高齢者保健福祉圏域ごと(二次保健医療圏と同じ9圏域)に概ね1か所「地域リハビリテーション広域支援センター」として整備を進めています。

このほど、当院が平成23年9月1日付けで、鹿児島県地域リハビリテーション広域支援センター(脳血管疾患分野・整形疾患分野)として指定を受けました。

指定期間は、脳血管疾患分野・整形疾患分野ともに平成23年9月1日～平成25年3月31日までです。

鹿児島県内では、当院を含めて、14医療機関・施設(脳血管疾患分野:12整形疾患分野:10)がそれぞれ指定を受けています。

地域リハビリテーション広域支援センターでは、以下のような取り組みをしていきます。

1. **地域リハビリテーション実施機関への支援**
地域住民の方からの相談や病院・介護施設等からの相談を受けて適切な支援を行います。
2. **地域におけるリハビリテーション実施機関の従事者に対する援助・研修**
地域のリハ関係の病院や介護施設、市町村などのリハ関係従事者に対する援助や研修会の開催のほか、地域住民を対象とした講演会などを実施します。
3. **地域における関係団体等からなる地域連絡協議会の設置・運営**
地域でリハに関係する職種の方々に地域リハの推進のための検討会を開催します。

これから当院では、出水圏域の地域リハビリテーション広域支援センターとして、『出水圏域の方々が安心して、安全に生活できるようにリハビリや住宅改修の指導を行います。お気軽にご相談ください。』を目標に、障害のある人々や高齢者および家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、いきいきとした生活が送れるよう、また、医療や保健、福祉及び生活にかかわる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合えるよう、地域リハビリテーションの推進に努めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひします。

このような場合は

当センターにお気軽にご相談ください。

脳卒中などによって麻痺した手足の回復や、起立・歩行といった基本動作のリハビリ

食事・排泄・入浴などの日常生活や家事動作のリハビリ

音声機能、言語機能、摂食・嚥下機能等のリハビリ

家庭での適切な介護方法

福祉用具・住宅改修などに関すること

その他リハビリテーションに関してお困りのこと等など

【センター設置場所】

出水総合医療センター
リハビリテーション技術科内



当 院 に お け る

N S T 活 動 に つ い て

栄養科 NST専従 宇藤 忍

当院のNSTは、平成12年から活動を開始しており、現在、TNT医師4名、NST専門療法士10名（看護師3名、薬剤師2名、管理栄養士3名、臨床検査技師2名）を中心に活動を行っています。

平成22年度からは診療報酬改訂において急性期一般病棟を対象に栄養サポートチーム加算が算定できるようになりました。

NST対象は、全科全病棟の患者とし、栄養不良、経口摂取困難、静脈栄養、経腸栄養、PEGなど栄養管理に関わる相談に応じております。

NST回診は、毎週1回行い、そのチームメンバーは医師、各病棟看護師、褥創担当看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士で構成され、栄養評価、栄養経路、栄養補給法、栄養剤の選択、必要栄養量の算定など、経静脈栄養・経腸栄養・経口食のプランニング、モニタリング等についてカンファレンスし、栄養管理について主治医に提案しております。

また、隔週で全病棟のNST症例について、症例検討会を開催し多職種にて検討を行っています。

さらに当院は、「NST専門療法士」認定教育施設に認定されており、栄養サポートチーム加算に関する施設基準の40時間の実地研修もカリキュラムを組んでおり、今年度は5施設8名の研修を受け入れました。研修の希望、詳細については当院栄養科までお問い合わせください。

TNT (Total nutritional therapy) = 栄養療法

NST (Nutrition Support Team) = 栄養サポートチーム

水曜勉強会

本勉強会は、院外医療関係者の方も自由に参加できます。

開催場所 出水総合医療センター 2階講堂

開催時間 17:30～18:30まで

12月 7日(水)	病理症例検討会 「虫垂炎との鑑別が困難であった虫垂癌の症例」 <small>こもはら</small> 熊本大学 菰原 義弘 先生
12月14日(水)	平成23年度 院内学術講演会
12月21日(水)	TQM歯止め大会 TQM委員会
12月28日(水)	お休み

内容は、講師の都合などにより変更になる場合がございます。



12月外来診療表



診療受付時間 8時30分～11時まで

ただし、小児科、放射線科、神経内科は一部午後診察の予約を受付けますので、事前に地域医療連携室にご相談ください。

診療科	月	火	水	木	金	
内科	吉井 博	吉井 博	吉井 博	吉井 博	吉井 博	
	金曜日 心エコー					
循環器内科	楠元 孝明	楠元 孝明	楠元 孝明	楠元 孝明		
	月～木曜日 心エコー、月・火・水曜日 心筋シンチ 月・火・木曜日 冠動脈CT、胃カメラ					
消化器内科	二宮 正	(紹介患者)	二宮 正	(紹介患者)	二宮 正	
糖尿病・代謝内科	西田 健朗(第1月曜日)前田 貴子(第2月曜日)藤澤 和夫(第3月曜日)河島 淳司(第4・5月曜日) 月曜日だけの予約診療となります。					
神経内科		高橋 浩一 (第1・3・5火曜日)				
肝臓内科			楠 一晃 要予約 (第2・4水曜日)			
呼吸器内科				安田 國士 要予約		
腎臓内科			植田 美紀			
外科	花田 法久	川田 康誠	大熊 利忠	岡村 茂樹	花田 法久	
	月・木曜日 午前：乳腺精密検査、腹部エコー(要予約)					
整形外科	中沢 不二雄		中沢 不二雄		中沢 不二雄	
脳神経外科	國徳 尚子	國徳 尚子	國徳 尚子	國徳 尚子	國徳 尚子	
	櫻間 智孝	瀬戸 弘	瀬戸 弘	瀬戸 弘	櫻間 智孝	
	火曜日は手術予定日のため、診察・検査予約は、火曜日以外でお願いします(緊急は除く) 月・木曜日 午後 脳血管造影(要事前診察)、火・木曜日 午前 脳ドック(要予約)					
脊椎外来		白石 昭司 (第1・3・5火曜日)				
小児科 午後診察は 予約制	和田 昭宏	和田 昭宏	和田 昭宏	和田 昭宏	和田 昭宏	
	古城 圭馴美	古城 圭馴美	古城 圭馴美	古城 圭馴美	古城 圭馴美	
		健診	予防接種	心臓健診		
眼科	松尾 由紀子	松尾 由紀子	松尾 由紀子	松尾 由紀子	松尾 由紀子	
		午後 予約診療		午後 予約診療	午後 予約診療	
麻酔科		松本 真一 (8:30～9:00)	松本 真一	松本 真一	松本 真一	
	竹下 次郎	竹下 次郎	竹下 次郎	竹下 次郎	竹下 次郎	
		ペインクリニック (初診・午前のみ)			ペインクリニック (初診・午前のみ)	
外来受付 8:30～9:00まで 再診の外来診察は、月・水・金曜日になります。						
皮膚科				増口 信一		
婦人科	鹿児島大学 産婦人科医師					
放射線科	長谷川 秀水 (読影)	長谷川 秀水 (読影)	長谷川 秀水 (読影)	長谷川 秀水 (読影)	長谷川 秀水 (読影)	
		松山 知彦 (午前のみ・要予約)			松山 知彦 (午前のみ・要予約)	
	放射線治療(火・金)の紹介は、対象疾患(臓器)の該当診療科宛にご紹介ください。担当医：松山知彦(要事前予約)					
内視鏡	明瀬 英毅 (上部下部内視鏡)	外科・消化器内科	福永 久美 (上部下部内視鏡)	外科・消化器内科	外科	
手術日程	午前		整形外科	外科	整形外科	
	午後		整形外科	脳神経外科	整形外科	
			眼科	脳神経外科	外科	外科
				外科	内科	

急患の診察は、担当科医師もしくは地域医療連携室にご相談ください。